

平成 20 年 12 月 25 日

各 位

会 社 名 ユニコムグループホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 二 家 英 彰
(J A S D A Q ・ コード 8 7 4 4)
問合せ先 専 務 取 締 役 酒 井 清 行
TEL 0 3 - 5 6 2 3 - 8 7 4 4

証券子会社の統合時期の延期に関するお知らせ

当社は、平成 20 年 9 月 25 日付「証券子会社の統合に関するお知らせ」におきまして、グループ傘下の証券会社であるアイディーオー証券株式会社（本社：東京都中央区 代表者：西孝夫、以下「I D O 証券」）と日産センチュリー証券株式会社（本社：東京都中央区 代表者：野澤正平、以下「N C 証券」）の 2 社を平成 21 年 6 月を目処に統合する旨をお伝えしておりましたが、下記のとおり、当該統合の時期を延期することを、本日開催の取締役会にて決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 延期の理由

本件統合は、オンライン取引を主軸とする I D O 証券と対面取引を主軸とする N C 証券の両社を統合し業務運営の一層の効率化を図ることで、より強固な経営基盤を構築する事を目的としております。I D O 証券及び N C 証券では、本件統合の決定（平成 20 年 9 月 25 日）の後、両社合同で「統合準備委員会」を設置し、統合のための準備を進めて参りました。

しかしながら、本件統合の発表後、世界的な金融不安の影響がさらに拡大し、証券、外国為替、そして商品とすべての市場において取引が予想以上に低調となり、経営環境は一層厳しい状態となっております。

両証券会社におきましても、本件統合準備と並行して、それぞれ出来る限り業務の合理化を進めておりますが、こうした厳しい環境の中にあつて、特に I D O 証券が来年に参入を予定している“大証 F X”等の新規事業や商品先物の受託業務における東京工業品取引所の次期システム（来年 5 月稼働予定）等に対するシステム対応のためのコスト負担が相対的に重みを増す等、グループ全体で見した場合の収支環境も大きく変化してきております。

本件統合を進めるにあたって、システム上の費用の発生は当然に想定されたところではあります。が、上述のとおり予想以上に厳しい環境の変化の下では、こうした統合に伴う費用の発生を重ねることは、かえって統合効果を削減させてしまう懸念もあり、グループ経営戦略上も得策ではないと判断し、本件統合の時期を延期する事といたしました。

現段階においては、両証券会社それぞれがまずせねばならぬことを優先し、同時に各社ごとの経営合理化の一層の推進による収益力強化に努めることで、より効率的かつ効果的な統合の実現に向けた基盤作りを行う所存です。

2. 既発表内容の変更

平成 20 年 9 月 25 日付「証券子会社の統合に関するお知らせ」から変更する内容は「2. 統合の内容」の次の箇所です。

(変更前)

1) 統合予定時期 平成 21 年 6 月

(変更後)

1) 統合予定時期 未定

3. 今後の予定

本件統合につきましては、I D O 証券及び N C 証券にて設置されている統合準備委員会において引き続き協議を進めてまいります。

なお、未定となっている統合時期、統合方法等は、確定次第速やかに公表させていただきます。

以 上